



五十沢小学校だより

# いのち かがやく

No.9

令和7年12月23日



【子どもの笑顔】を支える【保護者、地域の笑顔】と【教職員の笑顔】

## みんなみんな 成長したね～2学期終業～

五十沢小学校、充実の2学期が終わります。子どもたちの変わらない明るさと素直さに加えて、それぞれの学年の教育活動の中で、子どもたちは着実な成長をしていると心から感じます。できるようになったことが増えたこと、考える力が付いたと感じること、発言や発表での堂々とした表情、言葉、声の強さ、友達や仲間との関係や競争・選抜で悩んで乗り越えた経験などなど、一人一人が様々な場面で成長を遂げました。しかし、その成長は、毎日接していると、目の前の姿として通り過ぎてしまいます。また、大人は、先のことを目が向きがちで、「これができるようになってほしい」「こうなったらどうしよう」と期待や不安で、成長を見逃してしまいやすいものです。

### 大切なのは「ふり返り」～こんな意味があったと思うこと～

そんなとき、私は、やはり「ふり返る」ことが大切だと思っています。例えば、子どもが悩んだり苦しんだりしていても、「この経験にはこんな意味があった」と意味づけることが重要です。辛いことを乗り越えた先にある成長を願い、どう乗り越えるのかを見守り、支える。また、何気ない変化を形や言葉にして自信を持たせる。こうしたことが、現代に求められる「失敗を恐れず、主体性をもって」生き抜く力を育てるための手段だと考えています。それを子ども自身でできたら、素晴らしい。職員や子どもたちにも、この「ふり返る」ことの価値をずっと伝えてきました。

ぜひ、明日からの冬休み、子どもたちの行動や言葉、姿の変化を見つけ、「こんなところが成長したね」と意味づけてあげてください。そうすることで、それまでは気付かなかった、大人の期待や不安を超えるような、お子さんの思わぬ成長に気付くきっかけづくりになると思います。

## 新潟日報 魚沼版 「自由帳」 五十沢小学校児童掲載

11月11日から12月23日まで、新潟日報の魚沼版「自由帳」のコーナーは五十沢小学校が担当しました。どの子も、その子らしい、また、普段からは気付かなかったようなことを文章にしてくれました。担任がその子と対話し、言葉を紡ぎ、引き出したものも多かったようです。この機会に自分の夢や好きなことにしっかり向き合えることは貴重だったと、この機会をいただいたことに感謝しました。(学校ホームページにも1～5年生まで掲載しています。全学年分がそろいましたら、改めて紹介いたします。)



～小中高校生のディスカッションを見てみませんか～

新潟県が、いじめ見逃しゼロを目指し、県民運動として取り組んでいる活動です。「いじめはぜったいにだめ」ということを言い続けることは大切なことです。しかし、身の回りにある小さなすれ違い、遊びや笑いといって見逃してしまう「いじり」がいじめになっていることも事実です。

今回はこの「いじり」について、小学生、中学生、高校生が思っていることや考えていることを話し合いました。ZOOMで参加校をつなぎ、話し合っており、生の声を聞くことができます。

子どもたちが、子どもたちの社会の中で、迷いながらいじめをしたくない、傷つけたくない、傷つけられたくないと思っていること、「いじり」は全ていじめになるのか、お互いに冗談も言えなくなるのか、「よい いじり」はあるのか、などについて話し合っています。ぜひ「新潟県 いじめ」と検索してご覧になってみてください。

子どもがいじめ見逃しゼロ市民の集いについて主体的に考え、  
保護者や地域の大人が子どものメッセージを受け止める

# いじめ見逃しゼロ 市民の集い

**今年は今夏開催!**

令和7年度の「いじめ見逃しゼロ市民の集い」は、いじめの問題について、  
こどもたち（小・中学校生）のディスカッションを実施した様子も、YouTubeで動画配信します。

## 当日の様子 **YouTubeでオンデマンド配信!!**

**YouTube公式チャンネル「新潟県いじめ見逃しゼロチャンネル」**

**配信期間:** 令和7年 **12月17日(水)** ~ 令和8年 **10月31日(土)** (予定)

**テーマ:** 「だれもが安心して過ごせる関わり方を目当てて ～いじりについて考えてみよう～」

デー	内容
前 午	・代表あいさつ（深めよう絆にいがた県民会議 会長 橋本定実） ・代表児童生徒によるディスカッション
後 午	・代表児童生徒によるシェアリング ・感謝状授与



コーディネーター：高柳 真由子  
 実行委員会 幹事 岩崎昌幸伊藤智雄 実行委員 渡辺 伊登 石井 一広  
高柳 真由子 新潟県立佐和田高等学校 保健体育科 担任。元々、教育に関心があり、学生生活からボランティア活動を通じて社会貢献活動に取り組む。現在は、NPO法人「いじめ防止推進機構」にて、いじめ防止に関する研修や講演活動などを行っている。また、新潟県立佐和田高等学校では、生徒会役員として、学校行事の企画運営や、地域との連携活動などにも積極的に取り組んでいる。

**視聴方法：** 動画は、「下記URL」にアクセスし、視聴することができます。  
 ニュースカードをダウンロードしてください。  
[URL: https://youtube.com/pphenm18\\_ia](https://youtube.com/pphenm18_ia)





**主催：深めよう 絆 にいがた県民会議 新潟県教育委員会**

この大会の目的は、いじめ問題に対する理解を深め、いじめ防止意識を高め、いじめ被害を受けた児童生徒への支援を行うことにある。また、いじめ防止に関する知識やスキルを身につけ、いじめ防止に取り組むことができるようにすることである。この大会には、新潟県内の各自治体、教育機関、民間団体などが参加する。また、いじめ防止に関する最新の動向や、いじめ防止に関する最新の研究成果などを紹介する。また、いじめ防止に関する最新の動向や、いじめ防止に関する最新の研究成果などを紹介する。

お問合せ先：深めよう 絆 にいがた県民会議事務局（新潟県教育庁生涯学習課） TEL:025-280-5793

<https://www.jimetaisaku.pref.nigata.lg.jp/> **新 潟 県 い じ め 対 策 有 限 公 司**



## 五十沢小学校コミュニティ・スクール

## ～学校地域協働活動「五十沢の未来を語る会」～

今年度、五十沢小学校の第1回学校運営協議会で、学校の経営方針の承認の他に、昨年度までの学校評価を受けた学校評価項目(グランドデザイン)の説明を受けて、学校の課題、地域の課題、

「こうなってほしい」という願いを出し合いました。その後、その願いを実現するために、知恵を出し合い、力を合わせて解決に向かう話し合いする「五十沢の未来を語る会」を立ち上げ、熟議を進めてきました。

ここには、学校運営協議会委員だけでなく、思いを同じくする地域で活動する方々にもお集まりいただきました。民生委員、公民館事業をする五十沢会館、まちづくり協議会、五十沢地区青少年育成会、PTA顧問、学校ボランティアとして地域と学校をつないできた方、自主的に地域の高

齢者と子育て世代をつなげる活動をしている「五十沢ちいき食堂」の方々など、これまでの五十沢のよさを大切にし、これからの五十沢の子どもたちのために思いをもつ方々です。

現在 2 回の話し合いを経て、それぞれができる範囲で、より多くの五十沢地域の皆さんと触れ合

え、一堂に会して観覧したり参加したりする場をつくらうということになりました。(現段階の構想では、地区文化芸能祭の日に、新しいことを何か加えることができれば・・・と思いを膨らませています。)

第3回の話し合いは1月27日の予定です。  
興味のある方、ぜひ一緒に五十沢地区の未来  
を語りませんか。お待ちしております。

# 第1回五十沢の未来を語る会まとめ

- ・これまでの育成会の活動
- ・家庭内で楽しむことに終始せず、家庭を超えて地域や近所の仲間と遊ぶ
- ・大人が子どもたちを巻き込んで、楽しむ
- ・親同士が仲良くなる
- ・楽しい思い出をたくさんつくる

経験できることを増やす

<地域づくり協議会>

- ・塞ノ神
- ・ふるさと祭り
- ・魚のつかみ取り(にじます)
- ・文化芸能祭(カラオケ、日本舞踊、バンド演奏、作品展示、NPO魚沼未来塾(学生を中心にしたこと))
- ・五十沢歌舞伎
- ・子どもたちを巻き込んで

<学校の行事を親も楽しむ>

- ・ダンス大会

<学校の授業>

- ・3年生の総合で全員が経験する(黒原重夫さん、江部板金の娘さん)

<ふだんの子どもたちとかかわる「ふらっとルーム」>

- ・地域の人がこえて集う

<育成会>

- ・親子バス旅行

23

## 11/28(金)第2回五十沢の未来を語る会まとめ

- ・あたらしい地区芸能祭「シン・地区芸能祭」に向けて、準備をはじめよう。
- ・五十沢会館が協議員会で承認を得た後(2月以降)具体的な動きができる。
- ・分担は、  
これまでの芸能祭分野・・・五十沢会館  
子ども商店、キッチンカー、広報・・・五十沢ちいき食堂  
クラブ活動、広報、子どもの参加要請・・・学校・PTA
- ・次回は、協議員会后、日程調整し、連絡する。

<学校でできないか>?PTA? ?CS? ※学校でも提案できそうなどもある。検討する。  
・弁当(アンケートをとって?)・雪遊び・山菜散策・作品展への出品(希望者)  
今後、CSの取組としてできないか模索していく。まずは「シン・地区芸能祭」を実現していこう